

令和5年度 ハウスぶどう病害虫防除暦

(「巨峰」・「ナガノパープル」・「シャインマスカット」・「クイーンルージュ®」・「ピオーネ」)

JAながの 須高フロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
水上がり直後 (1月加温まで) 月 日	— —	水 アプローチBI CX-10	93.4 ℓ 100 mℓ 6.6 ℓ	 1,000 倍 15 倍	 150 ℓ		— — 収穫後か ら 発芽前	— — 2 回以内	・散布前後24時間飲酒を止めてください。 ・超早期加温の弱樹勢樹には散布をさける。
1 発芽前 月 日	— 1 M7	水 展着剤 ㊸ ラビキラー乳剤 ㊸ ベフラン液剤25	100 ℓ 10 mℓ 500 mℓ 400 mℓ	 10,000 倍 200 倍 250 倍	 250 ℓ	ブドウトラカミキリ 黒とう病 晩腐病	— — 発芽前 (休眠期) 休眠期	— — 2 回以内 1 回	
2 展葉5~6枚頃 月 日	— M4 16	水 展着剤 オーソサイド水和剤80 アプロードフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 125 g 100 mℓ	 10,000 倍 800 倍 1,000 倍	 200 ℓ	晩腐病 黒とう病 べと病 褐斑病 灰色かび病 カイガラムシ類	— — 30 日前まで 30 日前まで	— — 3 回以内 2 回以内	
無核ぶどうのみ 展葉7~8枚頃 月 日	25	水 アグレプト液剤	100 ℓ 100 mℓ	1,000 倍	200 ℓ		満開14日前 ~開花始期	1 回	・種無し品種には必ず散布する。 ・花房に十分付着する様に散布する。 ・散布時期が遅れると、無核化効果が劣る場合がある為、 散布遅れがない様に注意する。 ・有核ぶどうには隣接園を含め、絶対散布・飛散させない。
3 展葉8~9枚頃 月 日	— M3 3	水 展着剤 ジマンダイセン水和剤 アーデントフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 100 g 50 mℓ	 10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍	 250 ℓ	晩腐病 黒とう病 べと病 アザミウマ類 コガネムシ類 ハダニ類 フタテンヨコバイ	— — 45 日前まで 前日まで	— — 2 回以内 4 回以内	
花振るい防止 展葉10枚頃 月 日	—	水 フラスター液剤 巨峰・ナガノパープル シャインマスカット	100 ℓ 125 mℓ 66 mℓ	 800 倍 1,500 倍	150 ℓ		展葉7~11枚時 (開花始期まで)	2 回以内	・種無し品種に使用する場合は、登録倍率・効果が品種毎に違いがある為、 最寄りの技術員にご確認の上使用下さい。 「種なし巨峰」「ナガノパープル」800倍、「シャインマスカット」1,500倍
4 開花前 月 日	— 17 13	水 展着剤 パスワード顆粒水和剤 ㊸ コテツフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 100 g 50 mℓ	 10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍	 300 ℓ	灰色かび病 白腐病 アザミウマ ナミハダニ ブドウサビダニ	— — 14 日前まで 60 日前まで	— — 2 回以内 2 回以内	・昨年ハスモンヨトウの発生園では、「フェニックスフロアブル」(4,000倍 /収穫14日前まで/年間2回以内)を加用散布する。

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
5 落花直後 月 日	3 9 20	水 オンリーワンフロアブル コルト顆粒水和剤 マイトコーネフロアブル	100 ℓ 50 mℓ 33 g 100 mℓ	2,000 倍 3,000 倍 1,000 倍	300 ℓ	晩腐病 黒とう病 灰色かび病 チャノキイロアザミウマ カイガラムシ類 ツマグロアオカスミカメ ハダニ類	前日まで 前日まで 21日前まで	3回以内 3回以内 1回	
特別防除 ハダニの防除 月 日	25	水 ダニコングフロアブル	100 ℓ 50 mℓ	2,000 倍	250 ℓ	ハダニ類 ブドウヒメハダニ	前日まで	1回	・例年ハダニが発生する園では落花20日頃に「スパイカルプラス」(100パック/10a当り)を設置する。その後もハダニ類の発生が見られる場合は、「スパイデックス」(300mℓ/10a当り)を設置又は、袋掛けを行い「コロマイト水和剤」(2,000倍/収穫7日前まで/年間2回以内)を散布する。
特別防除 灰かび病防除 月 日	9	㊟ フルピかくん煙剤			50g×4ヶ所	灰色かび病	30日前まで	2回以内	くん煙剤の使用方法 ・均一に煙が拡散する様に配置し、加温機の送風機を動作させながらくん煙する。 ・㊟「テルスタージェット」は、蚕毒、魚毒が強いので使用地域が限定されています。
特別防除 ダニ防除 月 日	3	㊟ テルスタージェット			48g×5ヶ所	ハダニ類	前日まで	1回	
6 フィルム除去後 (収穫後) 月 日	M1 4 -	水 ムッシュボルドーDF アルパリン顆粒水溶剤 クレフノン	100 ℓ 200 g 50 g 1 Kg	500 倍 2,000 倍 100 倍	350 ℓ	スリップス類 カイガラムシ類 べと病 さび病	- 前日まで -	- 3回以内 -	
特別防除 フィルム除去後 ダニ防除 月 日	12	水 オマイト水和剤	100 ℓ 100 g	1,000 倍	350 ℓ	カンザワハダニ	14日前まで	1回	・ハダニの発生が多い園では、当年の葉の保護と来年の密度を減らす為、特別散布する。 尚、ぶどうの葉に葉害が生ずる為、外気温に慣れさせてからの散布とし、前回散布の「ムッシュボルドーDF」と次回散布の「ICボルドー66D」との散布間隔を14日以上空けて散布する。
収穫後 (2回目) 月 日	M1 1	水 ICボルドー66D スミチオン水和剤40	97.5 ℓ 2.5 Kg 100 g	40 倍 1,000 倍	350 ℓ	べと病 さび病 ブドウトラカミキリ ブドウスカシバ	- 21日前まで	- 2回	